

第4号様式（第9条関係）

令和8年 4月 1日

日進市議会議長 宛て

議員名 中島 まなみ

令和7年度政務活動費収支報告について

日進市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項に基づき、別紙のとおり
令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

議員名 中島 まなみ

1 収 入
政務活動費 150,000 円

2 支 出 71,076 円

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	50,296	衆議院第二会館 勉強会交通費・宿泊費・手土産代
研 修 費	20,780	令和7年度第3回市町村長等・議会議員特別セミナー研修費（食費、研修生活費含む）・交通費
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
合 計	71,076	

3 残 額 78,924 円

参考 第1号様式

政務活動事業実績報告書

議員氏名 中島 まなみ

令和7年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

年 月 日	事 業 名	事 業 概 要 及 び 成 果 等
R7年 10月15日 ～10月16日	東京都千代田区 永田町 衆議院第二議員会館	別添「調査視察地等の報告書」のとおり
R8年 1月19日 ～1月20日	滋賀県大津市 全国市町村国際 文化研修所	別添「調査視察地等の報告書」のとおり

(注) 使途基準の項目別に記載すること。

調査視察地等の報告書 令和7年 10月 21日 日進市議会議長 福安 淳也様 議員氏名 中島 まなみ	
実施年月日 令和7年 10月 15日から 2日間 令和7年 10月 16日まで	行き先 衆議院第二議員会館
目的 議員会館勉強会 国の制度と地方自治体の実務の乖離を確認し、議会活動及び住民対応に反映するため、各中央官庁ヒアリング研修会に参加。	
報告事項 報告事項については別紙参照。	
※別添資料	

報告事項

令和7年10月15日・16日

衆議院第二議員会館

『テーマ』 国の制度と地方自治体の実務の乖離を確認し、議会活動及び住民対応に反映するため、各中央官庁ヒアリング研修会に参加。

1. 発達障害における5歳児健診の実施と支援体制の整備について

・質問趣旨

日進市では、子どもの発達支援強化のため「5歳児健診」の導入を検討中。ただし、法定健診ではないため国の交付税措置がなく、財源・人材確保が課題。

国への主な質問項目

【5歳児健診に関する支援】

- ・国による補助制度の創設予定や検討状況
- ・現行補助単価（5千円／人）の根拠と実費との乖離への対応
- ・健診後の相談・教室・巡回支援などへの財政支援の可能性
- ・地域資源が乏しい自治体への支援策（オンライン支援・広域連携など）

【専門職の人材確保】

- ・臨床心理士等の育成・雇用・報酬制度に関する国の支援
- ・地域間格差を是正する広域派遣やオンライン支援の制度化

2. 誰でも通園制度の制度設計および財源確保に関する国の方針について

・質問趣旨

「0～2歳児の誰でも通園制度」は多面的な効果が期待される重要施策であり、本市も積極的に取り組みたいと考えていますが、財源・人材の確保が困難で制度の実効性に懸念があります。地域間格差を生まない制度運用のため、厚生労働省の見解を伺う。

国への主な質問項目

・実施スケジュールの遅れ

令和8年4月の本格実施に向けて条例制定が求められているが、運営基準が定まっていない為、準備が困難

・民間施設への協力依頼の難しさ

運営基準や給付単価が不明なため、民間に具体的な協力依頼ができない

・保育需要の高い地域での制度設計

本市では定員が充足しており、国が想定する「余裕活用型」の運営が困難

・公立実施における財政負担

不交付団体である本市では、交付税措置が実質的な支援とならず、財政的に厳しい

- ・制度の位置づけの不明確さ

通知では「積極的な実施」が求められているが、法的には義務ではなく、対応方針が定めづらい

3. 中学生の通学負担軽減・ICT 安全対策・教員不祥事防止に向けた制度整備の提案について

・質問趣旨

デジタル教科書の導入により、児童の荷物軽減や学習環境の向上が期待されますが、タブレット整備に係る実費と国の補助単価に乖離があり、自治体負担が重くなっています。今後、タブレットが教科書同様の必須ツールとなる中で、財政支援の拡充と、ICT 活用に伴うトラブルへの制度的対応が急務である。

国への主な質問項目

- ・デジタル教科書の機能強化と柔軟な運用指針の整備
- ・紙教科書の軽量化・分冊化に向けた国のガイドライン整備
- ・AI 見守りアプリ導入への財政支援と連携体制の支援
- ・教員不祥事防止に向けた研修・設備整備への制度的支援

4. 学校給食費無償化に関する国の制度設計と自治体支援についての質問について

・質問趣旨

物価高騰に伴う給食費改定に対し、国の交付金で一部公費負担しているが、継続性が不透明で制度的支援が必要。無償化が進む近隣自治体との格差や保護者の不安に対応するため、国の安定的な財政支援を求める。

国への主な質問項目

- ・給食費無償化を地方交付税措置ではなく、国の責任で地方負担が生じない制度とする考えはあるか。
- ・物価高騰による給食費値上げ分について、保護者負担を抑える継続的な財政支援の方針はあるか。
- ・自治体間で生じている給食費負担の格差是正に向けた国の対応方針は。
- ・給食の栄養・質・量を維持するための安定的な財源支援制度の創設についての考えはあるか。

5. 誰一人取り残さない防災体制の構築に向けた情報伝達・避難支援・意識啓発・制度整備に関する質問について

・質問趣旨

災害時に支援が届きにくい障がい者、高齢者、外国人、ペット同行避難者などへの対応は地域防災の重要課題です。防災意識の向上や ICT 活用による情報伝達の整備も急務であり、多様なニーズに応える体制構築には、国の制度的・財政的支援が不可欠です。そこで、国の方針と支援制度の有無について問う。

国への主な質問項目

- ・障がい者・高齢者・外国人向けの情報伝達のユニバーサル化（音声化・やさしい日本語・多言語対応）
- ・スマホ通知・アプリ・SNS 連携など、次世代の情報伝達手段の整備方針
- ・防災 DX や情報発信に活用できる自治体向け財政支援制度の有無
- ・要配慮者の個別避難計画や地域連携による支援体制構築への支援
- ・防災教育・啓発・参加型訓練など、住民の防災意識向上に向けた国の取り組み

- ・ ペット同行避難者への対応と、人と動物が安心して避難できる仕組みづくり
- ・ 自治体に取り組む防災施策に必要な人員・財源確保への国の支援方針

6. 身寄りのない高齢者への支援体制についての質問について

・ 質問趣旨

身寄りのない高齢者の増加により、医療・介護・住まい・死後事務など多方面で支援が必要となる一方、制度の狭間に置かれやすい状況があります。川崎市や岡崎市では先進的な支援事業が始まっていますが、地域差も大きく、全国的な制度整備が急務です。誰一人取り残さない社会の実現に向け、国としての明確な方針と制度設計を求める。

国への主な質問項目

- ・ 国としての支援方針と制度整備の現状
- ・ 自治体による支援への財政的・制度的支援策の有無
- ・ モデル事業の全国展開と低所得高齢者への制度設計の検討状況
- ・ 身元保証人代替・死後事務支援など実務課題への対応策
- ・ 今後の施策の方向性と法制度整備の検討状況

7. 高齢者の就労支援に関する国の施策について

・ 質問趣旨

定年後も働きたい高齢者が増える中、雇用機会や制度面の壁により「働きたくても働けない」状況が多く見られます。特に女性高齢者の再就職支援は喫緊の課題です。国としての支援方針と具体的施策について伺います。

国への主な質問項目

- ・ 定年後も働きたい高齢者への国の支援方針と現行制度の概要
- ・ ハローワーク・シルバー人材センター等による支援の現状と課題
- ・ 女性高齢者の再就職支援施策と今後の強化方針
- ・ 自治体・民間との連携による多様な就労機会創出への支援策
- ・ 高齢者が安心して働ける環境整備に向けた国の取り組みと方向性

8. 定期予防接種の実施における財源確保と不交付団体への支援についての質問について

・ 質問趣旨

定期予防接種はすべての子どもに公平に提供されるべき重要施策ですが、不交付団体では財源確保が困難で、制度の趣旨を十分に果たせない懸念があります。今後の感染症対応を見据え、国の支援方針と制度整備について伺います。

国への主な質問項目

- ・ 不交付団体でも活用可能な補助制度や特別交付税枠の有無と制度整備の予定
- ・ RS ウイルス等への対応における財政状況に応じた支援制度の設計方針
- ・ 不交付団体による接種充実への国の評価・支援方針

- ・接種に必要な人材確保に向けた人材派遣・広域連携支援の仕組みの有無
- ・すべての自治体が持続可能な接種体制を構築できるよう、制度設計と財政支援の検討状況

9. 排水機場の再稼働・撤去に伴う財政支援および環境対策に関する質問について

・質問趣旨

本市では停止中の排水機場の再稼働・撤去に多額の費用を要し、自治体単独での対応が困難です。景観・衛生・安全・環境保全の観点からも対応が必要であり、国の支援制度や方針について伺います。

国への主な質問項目

- ・再稼働・撤去に活用可能な国の補助制度と具体的支援メニューの有無
- ・放置による環境リスクへの国の対応方針と支援制度、環境省との連携可能性
- ・再稼働時の更新・耐震化・遠隔操作化に対する技術的・財政的支援の有無
- ・撤去費用の補助や跡地利活用に関する支援制度（地域再生、グリーンインフラ等）の有無
- ・調査・計画段階における調査費補助や専門家派遣などの支援の可否

所感まとめ

子ども、高齢者、障がい者、外国人、動物同行避難者など、誰もが安心して暮らし、災害時にも取り残されない社会の実現には、分野横断的な制度整備と自治体への継続的な財政支援が不可欠です。

また、教育・福祉・防災・就労支援など、現場が抱える課題は多岐にわたり、自治体間格差や不交付団体の財政的制約も深刻です。

国には、地域の実情に即した柔軟かつ持続可能な支援制度の構築を強く求めたいと思います。

今回の研修で得られた知見は、日進市においても非常に有益であり、今後の政策提案に積極的に活かしてまいります。引き続き、県や国に対しても現場の声を届け、制度改善に向けた更なる働きかけを行って参ります。

調査視察地等の報告書

令和8年 1月 21日

日進市議会議長 福安 淳也様

議 員 名 中島 まなみ

実施年月日

令和8年 1月 19日から
2日間
1月 20日まで

行き先

全国市町村国際文化研修所

目 的

第3回市町村長等・議会議員
特別セミナーに参加の為

講義内容

- ・「ウェルビーイングと人口減少社会のデザイン」
- ・「こども食堂からつながる地域・社会」
- ・「地方の可能性を世界経済とつなぐ」
- ・「人がつどい未来に躍動する世界都市・高松を目指して」

報告事項

報告事項については別紙参照。

※別添資料

第3回市町村長等・議会議員特別セミナー報告書

令和8年1月19日（月）～1月20日（火）

研修場所 全国市町村国際文化研修所

講義内容

①「ウェルビーイングと人口減少社会のデザイン」 京都大学名誉教授 広井良典

- ・人口減少社会は、量的拡大から質的充実へと社会の価値観を転換する契機であるとの指摘があった。
- ・所得格差がそのまま幸福の格差につながる現状が示され、格差是正や社会的包摂の重要性が強調された。
- ・幸福には、個人・家族・地域・社会といった“重層構造”があり、家族や集団を越えたつながりが、より大きな幸福の一体感を生むと説明された。
- ・地域資源を活かした持続可能なまちづくり、市民参加による共創型の地域デザインが、人口減少時代の自治体に求められるとされた。

②「こども食堂からつながる地域・社会」

認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ公共政策アドバイザー 湯浅誠

- ・こども食堂は、子どもの居場所にとどまらず、老若男女が集える地域の交流拠点として機能しているとの説明があった。
- ・全国ではこども食堂が 12,601 か所展開しており、前年比約 1,700 か所増と急速に広がっている現状が示された。
- ・一方で、食品衛生管理者の設置が義務付けられていないことや、ボランティア主体の運営が多いことから、食中毒などの事故発生時の対応体制に課題があるとの指摘があった。
- ・講義では、現場から「万が一の際の対処方法や行政の支援体制を明確にしてほしい」といった質問も寄せられ、行政の伴走支援の必要性が強調された。
- ・こども食堂は、支援を必要とする家庭と自然につながる“地域のハブ”として機能し、孤立防止や見守りなど多面的な効果が期待されるとされた。

③「地方の可能性を世界経済とつなぐ」 株式会社 SHONAI 代表取締役 山中大介

- ・地方には、文化・自然・産品など世界市場で評価され得る潜在価値が多く存在するとの指摘があった。
- ・デジタル技術や越境 EC の活用により、小規模事業者でも世界と直接つながることが可能であると紹介された。
- ・地域の魅力を再定義し、ブランドとして発信することが地方創生の鍵であるとされた。
- ・行政には、事業者の挑戦を後押しする環境整備（情報提供、人材育成、ネットワーク形成）が求められるとされた。

④「人がつどい未来に躍動する世界都市・高松を目指して」 香川県高松市長 大西秀人

- ・高松市の都市経営の実践として、コンパクトシティ戦略と公共交通の強化を軸にしたまちづくりが紹介された。
- ・市民が集い、活動し、挑戦できる「場づくり」を重視し、文化・芸術・スポーツなど多様な分野で都市の魅力を創出しているとの説明があった。
- ・行政運営では、データ活用や官民連携を進め、効率的で質の高いサービス提供を目指しているとされた。
- ・「選ばれる都市」になるためには、住みやすさと活力の両立が不可欠であり、長期的視点での都市ビジョンが重要とされた。

所感

今回の研修では、人口減少や地域のつながり、地方の可能性など、日頃の議会活動でも直面しているテーマについて多くの気づきを得ることができた。

特に、幸福には重層的な広がりがあり、家族や地域を越えたつながりが大きな安心感につながるという話は、日々の市民相談や地域活動の現場と重なる部分が多く、深く共感した。

また、子ども食堂が全国で1万2千か所を超え、地域の交流拠点として広がっている一方で、食品衛生面の課題や、ボランティアの皆さんが不安を抱えながら運営している現状も改めて知ることができた。

地域の温かい取り組みをどう支え、安心して続けてもらえる環境をつくるか、行政として考えるべき点が多いと感じた。

さらに、地方から世界へ挑戦する事例や、高松市の都市経営の取り組みは、日進市でも活かせるヒントが多く、地域の魅力をどう磨き、どう発信していくかを考える良い機会となった。

今回の学びを、地域の皆さんの暮らしがより豊かになるよう、これからの議会活動にしっかりとつなげていきたい。

参考 第3号様式（第13条関係）

令和7年度政務活動費会計帳簿

NO1

議員氏名 中島 まなみ

（単位：円）

年月日	摘 要	収 入	支 出	残 高	科 目	領 収 書 番 号
7年4月18日	令和7年度交付分	150,000		150,000		
7年9月25日	交通費 名古屋駅→東京駅		11,100	138,900	調査研究費	1
7年9月25日	交通費 東京駅→名古屋駅		11,100	127,800	調査研究費	2
7年10月13日	手土産代 2個分		7,128	120,672	調査研究費	3
7年10月15日	交通費 日進駅→名古屋駅		550	120,122	調査研究費	参考第2号様式
7年10月15日	交通費 東京駅→国会議事堂前駅		178	119,944	調査研究費	参考第2号様式
7年10月15日	宿泊費 ホテル代		19,512	100,432	調査研究費	4
7年10月16日	交通費 国会議事堂前駅→東京駅		178	100,254	調査研究費	参考第2号様式
7年10月16日	交通費 名古屋駅→日進駅		550	99,704	調査研究費	参考第2号様式
7年12月20日	交通費 名古屋駅→京都駅		11,020	88,684	研修費	5
8年1月8日	第3回市町村議会研修参加費		7,300	81,384	研修費	6
8年1月8日	第3回市町村議会研修参加費振込手数料		880	80,504	研修費	7
8年1月19日	交通費 日進駅→名古屋駅		550	79,954	研修費	参考第2号様式
8年1月19日	交通費 京都駅→唐崎駅		240	79,714	研修費	参考第2号様式
8年1月20日	交通費 唐崎駅→京都駅		240	79,474	研修費	参考第2号様式
8年1月20日	交通費 名古屋駅→日進駅		550	78,924	研修費	参考第2号様式
合 計		150,000	71,076	78,924		

参考 第6号様式

旅費精算内訳書

氏 名	中島 まなみ
目 的	議員会館勉強会
行 き 先	東京都千代田区永田町 衆議院第二議員会館
期 間	令和7年 10月 15日 ～ 令和7年 10月 16日 （1泊2日）

交 通 費 内 訳

月日	種別	明 細	金 額 (円)
10 ／ 15	地下鉄	日進駅 → 名古屋駅	550
	JR	名古屋駅 → 東京駅	11,100
	地下鉄	東京駅 → 国会議事堂前駅	178
10 ／ 16	地下鉄	国会議事堂前駅 → 東京駅	178
	JR	東京駅 → 名古屋駅	11,100
	地下鉄	名古屋駅 → 日進駅	550
／			

交通費小計	23,656 円
宿 泊 料	19,512 円
実績合計額	43,168 円
政務活動費充当額	43,168 円
差 引 額	0 円

※ 種別は、飛行機、J R、鉄道、地下鉄、バス、車 等を記入のこと。

参考 第6号様式

旅費精算内訳書

氏 名	中島 まなみ
目 的	全国市町村国際文化研修所「第3回市町村長等・議会議員特別セミナー」
行 き 先	滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
期 間	令和8年 1月 19日 ～ 令和8年 1月 20日 （1泊2日）

交 通 費 内 訳

月日	種別	明 細	金 額 (円)
1 / 19	地下鉄	日進駅 → 名古屋駅	550
	JR	名古屋駅 → 京都駅	5,510
	JR	京都駅 → 唐崎駅	240
1 / 20	JR	唐崎駅 → 京都駅	240
	JR	京都駅 → 名古屋駅	5,510
	地下鉄	名古屋駅 → 日進駅	550
/ /			

交通費小計	12,600 円
宿 泊 料	(宿泊料は研修費に含まれています)
実績合計額	12,600 円
政務活動費充当額	12,600 円
差 引 額	0 円

※ 種別は、飛行機、JR、鉄道、地下鉄、バス、車 等を記入のこと。

参考 第2号様式（第9条関係）

領収書等を徴し難い事情があった支出の明細書

支出年月日	支出の金額 (円)	支出の目的	領収書その他の支出を証すべき書面を徴し難かった事由
7年10月15日	550円	乗車券	名鉄・名古屋地下鉄（交通系ICカード）
7年10月15日	178円	乗車券	東京メトロ（交通系ICカード）
7年10月16日	178円	乗車券	東京メトロ（交通系ICカード）
7年10月16日	550円	乗車券	名鉄・名古屋地下鉄（交通系ICカード）
8年1月19日	550円	乗車券	名鉄・名古屋地下鉄（交通系ICカード）
8年1月19日	240円	乗車券	湖西線（交通系ICカード）
8年1月20日	240円	乗車券	湖西線（交通系ICカード）
8年1月20日	550円	乗車券	名鉄・名古屋地下鉄（交通系ICカード）

議員氏名 中島 まなみ

注「支出の目的」の欄には、支出の目的（乗車券、講師謝金等）を記載ください。

0101-1160-1882

年度政務活動費領収書等貼付用紙

NO 2

議員氏名 中島まなみ

領収書番号4

領収書番号5

日進市議会
議員

領収書 兼 利用明細書

中島まなみ 様

領収金額 ¥19,512

宿泊代 ¥19,312
**宿泊税 ¥200

小計 ¥19,512
10%対象 ¥19,312 内消費税 ¥1,755
宿泊税 ¥200

合計 ¥19,512
** 課税対象外

現金 ¥19,512

部屋番号 : 517
宿泊期間 : 2025/10/15 - 2025/10/16

アパホテルブライド〈赤坂国会議事堂前〉
TEL 03-5157-2811

アパホテル株式会社

登録番号:T4010401043403
取引番号:001002PJ01526638 2025/10/15 17:41
・本領収書は再発行できません。

駅-No 51301160 領収書-No 26
窓口-No 10

領収書
日進市議会議員
中島まなみ 様

金額 ¥11,020円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

EX/2月20日

2026年1月19日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号:T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

名古屋駅

現金出納社員



領 収 書

日進市議会 中島 まなみ 様

金額 7,300 円

但し、 令和7年度第3回市町村長等・議会議員特別セミナー

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和8年1月8日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 久保 佳代子

領収書No. 479

参考 第4号様式

年度政務活動費領収書等貼付用紙

NO3

議員氏名 中島まなみ

領収書番号 7

ご利用明細

三菱UFJ銀行

ご来店いただきありがとうございます。

このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

年月日	取扱店番	お取引内容
080108	0252272	お振り込み
受付通番	銀行番号	支店番号
0075		口座番号
*****		お取引金額
		¥7,300*

お取引 できない場合	残高	
時刻	税込手数料	おつり
11.17	¥880*	¥1,820*

お振込先・お受取人
ご依頼人

みずほ銀行
大津支店
普通 1705329
サ イ セ ン コ ク シ チ ヨ ウ ソ ン ケ ン シ ユ サ イ タ
ン セ 様
ニ ツ シ ン シ キ カ イ 様

